

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

2013年の日本経済を表す漢字は「昇」、株価上昇など背景に

～ 復活・回復・復興の「復」、変化の「変」、食品偽装表示の「偽」など上位に～



2013年の日本経済を表す漢字は「昇」——。日興アセットマネジメント株式会社(以下、日興アセット)が11月中旬に実施したアンケート調査で今年の日本経済を表す漢字一文字を尋ねたところ、「昇」が最多の34票を集め、1位となりました。

「昇」を選んだ理由としては、株価や経済全体の上昇傾向を挙げる声が大半を占めました。このほか、「2014年を何としても上昇の年としたい」(60歳以上・男性)と来年を見据えた声も上がりました。同様の理由から、「上」(13票)や「伸」(6票)なども一定の支持を集めており、相場上昇や景気回復の実感あるいは期待感のあらわれといえそうです。

2位には「復」と「変」が25票で並びました。「復」を推す理由としては、「日本経済の復活を感じる」(40代・男性)、「景気の回復が実感できる」(60歳以上・男性)などの声とともに、「被災地の復興」(60歳以上・男性)などが理由に挙げられました。「変」については、「アベノミクスで雰囲気が変わった」(40代・男性)と経済や政治の変化が数多く挙げられたほか、「変な空気だから」(50代・男性)のように変化の大きい現在の経済・社会状況に戸惑いや違和感を感じる声もみられました。

4位には年後半に相次いで発覚した食品偽装表示を受け、「偽」(23票)がランクインしました。偽装表示以外の理由としては、「アベノミクスという言葉だけで実態を伴わない好景気感だから」(40代・女性)など、世間で言われるほどには景気回復を実感できないことなどが挙げられました。5位以下は、「動」、「迷」、「転」などが続きました(詳細は次ページをご参照ください)。

票数は少数ながらユニークな回答としては、流行語にもなった人気ドラマの決め台詞から「倍」、「『おもてなし』を漢字一文字で表した」(40代・女性)として「饗」、日銀の量的緩和が象徴的だとして「量」、アベノミクスはミニバブルだとして「泡」、などがありました。

本調査は、日興アセットが運営するアンケート組織「投信ご意見番」にて、2013年11月13日から19日の間、登録いただいている日本国内の18歳以上の男女4,049人の会員を対象に、オンラインによるアンケートを実施したものです(回答者1,022人、当設問に対する有効回答数:665)。詳しい調査結果は公式ホームページにてご確認いただけます。

「投信ご意見番」ホームページ: <http://www.nikkoam.com/products/goikenban/questionnaire/18>

以上

《ご参考》

[設問] 「2013年の『日本経済』を表す漢字一文字を書いてください」へのご回答の上位10位（有効回答数:665）

順位	得票数		主な理由
1位	34票	昇	「低迷していた株価が上昇したから」(50代・女性) 「相対的に経済全体が上昇傾向にあるから」(50代・男性) 「自分は全く実感がないが、マスコミなどが世間の景気が良くなってきていると報道しているから」(30代・男性) 「株価や土地、マンション価格、為替レート、国民心理、オリンピックでの国旗にすべて通じるから」(40代・男性) 「2014年を何としても上昇の年としたい」(70代・男性)
2位	25票	復	「日本経済の復活を感じる」(40代・男性) 「景気の回復が実感できる」(60代・男性) 「安倍総理が復帰、オリンピックが復活、景気が回復、被災地の復興」(70代・男性)
		変	「経済状況に少し変化の兆しが見え始めてきた」(50代・男性) 「アベノミクスで雰囲気が変わった」(40代・男性) 「変な空気だから」(50代・男性)
4位	23票	偽	「偽装事件が多発した」(30代・男性) 「本当に景気が良いとは思えないが表面的に良いようにみせている」(30代・男性) 「アベノミクスという言葉だけで実態を伴わない好景気感だから」(40代・女性)
5位	22票	動	「停滞していた経済がやっと動き出したので」(30代・男性) 「経済が動いていると感じる」(50代・女性)
		迷	「社会全体が方向感がなく、迷走している感じがするから」(30代・男性) 「景気が上がったたり下がったり、いろいろなことに振り回されて迷うことが多かったから」(50代・女性)
7位	17票	転	「長年のデフレからの転換期に入ったとの印象があるので」(40代・男性) 「アベノミクス、異次元緩和と大きな経済的実験が相次ぎ、日本経済の転機になる1年だったと思うので」(40代・男性)
8位	15票	活	「経済の再活性化が期待できる」(50代・男性) 「復活した、活動的な勢いを感じた年だったから」(40代・男性)
		忍	「物価だけが上がっている現状では耐え忍ぶしかないから」(40代・男性) 「本当の好景気までしばらくの辛抱」(60代・男性)
10位	14票	虚	「実体のない経済成長」(40代・男性) 「すべてがお題目で実がない。アベノミクスしかり、震災復興しかり、原発復旧しかり、食材誤表示しかり」(60代・男性)

投信ご意見番について

「投信ご意見番」は日興アセットが運営するウェブサイト上でのアンケート組織です。登録いただいている日本国内の18歳以上の男女約4,000人の会員を対象に不定期のアンケートを実施し、アンケート結果を商品の開発や資料作成に役立てています。過去のアンケート結果は「投信ご意見番」アンケート結果 (<http://www.nikkoam.com/products/goikenban>) でご確認いただけます。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントグループ* (以下、日興アセット) は、アジア・オセアニア地域を中核として展開する「アジアの資産運用会社」で、運用資産残高約 16.0 兆円**を有します。1959年の設立から半世紀以上にわたり、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、年金基金や事業法人などの機関投資家のみなさまには付加価値のある高品質な運用サービスを提供しています。

日興アセットは、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など国内の販売チャネルと、海外に広がる販売チャネルをあわせて、アジア・オセアニア地域で最大規模の 300 社超の販売ネットワークを通じてお客さまに投資信託を提供しています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の運用力を活用する「ワールドシリーズ・ファンド・プラットフォーム」により、お客さまのニーズに合った幅広い商品を提供しています。

1999年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けてISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を2001年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。また、リッパージャパン、アジアインベスター、R&Iなどの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興アセットが擁するネットワークは、東京本社をはじめ、シンガポール、香港、マレーシア、中国、インド、オーストラリア、ニュージーランドとアジア・オセアニアの 8 つの国・地域に広がっており、地域ごとに現地の特性に応じた経営を展開する「マルチ・ローカル戦略」を実践しています。ロンドンならびにニューヨークにもオフィスを構え、米国・欧州ならびに中東で投資家のみなさまにサービスを提供しています。

*日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2013年9月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会